

# 善が 出来る ZENCAN

ニューズレター11月号  
NO. 2

いぬいせし



皆様、こんにちは。  
ファイナンシャルプランナーの小柳善寛です。  
第2号のニューズレターです。毎月発行を目標に挑戦中です。少しでも皆様の生活のお役に立てる情報を発信させて頂ければと思います。  
第一号の「ZENCAN」は皆様いかがだったでしょうか？

今回のインタビューは  
靴職人古賀幸仁さんです

皆様のお手元に届たかな  
と思いながら、直接お会い  
できた方には励ましの  
言葉をいただくことが出  
来ました。試行錯誤した  
苦勞が報われてよかつ  
た！と心底思いました。

そんな今年も残りわずか  
となりました。

12月になると世間もざわ  
つき、あつという間に年  
の瀬を迎え何かとバタバ  
タしてきます。

大掃除や年賀状など忙し  
くなりますが事故も増え  
てきますのでお互いに気  
を付けたいところです。

さて、今回第2号は佐賀で靴職  
人として頑張っておられる古賀  
幸仁(こうじん)さんです。

『世界で1足だけの、あなた  
のための靴』をコンセプトに佐  
賀市に工房を構えるオーダーメ  
イド革靴の専門店です。

お客様との打ち合わせから始ま  
り、靴が出来るまでお客様と一  
緒に1つの作品をオーダーメイ  
ドで作ります。

流行に流されない、ベーシック  
なデザインと最高級革の質感、  
お客様の足に合わせた最高の履  
き心地。既成品では得ることの  
できない特別感だとお客様の声  
があるようです。

苦勞話や、普段聞くことが出来  
ないようなお話し等を通して、  
古賀さんの人間性に迫っており  
ます。今後も引き続きニューズ  
レターの応援を宜しくお願いし  
ます。

【お問い合わせ先】

ファイナンシャルプランナー  
小柳 善寛

090-2080-5383



[zencanlifeplaza@gmail.com](mailto:zencanlifeplaza@gmail.com)



LINE ID:  
zencanlife

## ZENCAN取材

NIHIL bespoke shoe (ニヒル ビスポーク シュー) (以後はNIHILと略します) の靴職人、

古賀幸仁さんは双子の高校生男子の子と小学校3年生の娘さんのお父さん。来春には双子のお子さんが関東に就職され社会人として巣立っていかれるそうです！

ニユースレターの趣旨に快くご賛同頂きこの度の運びとなりました。

## 40年履ける靴を目指して

小柳：本日は、お店の紹介とあとはいろいろ質問しながら話を聞かせていただきたいと思いますので古賀さんどうぞよろしくお願いたします。

古賀さん：よろしくお願いたします。

小柳：まず古賀さんの出身地はどちらですか。

古賀さん：出身は、ここ佐賀市巨勢町修理田です。

小柳：県外に出られたことはありますか。

古賀さん：いいえ、ほとんどないですね。21歳のころ福岡に靴の職人さんがいたので、そこに1年ちよつと通ったくらいで後はずっと佐賀にいました。

小柳：この仕事を選んだきっかけがあつたのでしょうか。

古賀さん：高校生のときに、NHKのドキュメンタリー番組でシューズデザイナーのミハラヤスヒロさんが出てあつてそこでデザインをしながら木型を削つてあるのを

見てめちゃくちゃかつよかつたのを覚えています。きっかけというか最初の出会いでした。

小柳：その当時ですと靴職人さんがテレビに出るのは少なかつたのではないのでしょうか。

古賀さん：NIHIL bespoke shoe (ニヒル ビスポーク シュー)

ニヒルとは虚無的とか冷たいとかの意味があります。冷めた何もないところから足を測つて木型を削つて1足の靴を作る。

小柳：無から有を作つていくのですね。

古賀さん：何もないところからアクティブに使う事を目指して価値を創造する。

ビスポークとは元々テーラーの言葉で顧客がテーラーと話をしながら注文をしていくことを意味します。

ある意味積極的なニヒルと思っています。

小柳：ニヒルと言うと他人と関わらない冷たいイメージがありますが、そうではなくニヒルなんだけどもお

に積極的に関わっていくということでしょうか。

そこでお一人おひとりのお客様の靴を価値創造していくのですね。お客様が思い描く靴を形にしていく素晴らしいお仕事です。

普通の既製品の靴屋さんとは違い、一から靴を作る工程の中で古賀さんがワクワクするところはどこでしょうか。



**古賀さん**…木型を作る時  
 でしょうか。これを英語  
 でラストって言ってます  
 けど、これが靴を作る上  
 で一番必要な物です。木  
 型がないと全てが始まら  
 ないですね。

**小柳**…今、木型を見せて  
 貰っています、これは  
 最初からこの形なのです  
 か。

**古賀さん**…ある程度の形  
 になっているところから  
 お客様の足と同じ形にし  
 ていきます。

でもまず最初はやっぱり  
 靴そのものを作るよう  
 にならないといけない。  
 既製品であつてもパーツ  
 を組み立てて靴という形  
 にしないといけない。  
 基本を学ぶ為に一年間修  
 行に行きました。



**小柳**…既製品とオーダー  
 の大きな違いを教えてください。  
 ださい。

**古賀さん**…既製品にも既  
 製品の木型はあります。  
 ある程度誰が履いても良  
 いようになっているので、  
 ここはピッタリだけどこ  
 こは余裕がない。など、  
 どこかしらの問題があり  
 ます。ずっと歩いてたら  
 疲れるとか、踵がよく減  
 るなど様々です。

でも私が作るオーダーの  
 靴はお客様の足を採寸し  
 て作るので履き心地が全  
 く違います。履いた瞬間  
 履いた人にしか分からな  
 い、それこそ足の裏から  
 スッポリと包み込まれる  
 ようなフィット感とい  
 うのを体験されるようです。

**小柳**…靴下を履いた時に  
 フィットする感じではし  
 ろうか。

**古賀さん**…靴下を履くの  
 とは違います。まず前提  
 として靴の定義がありま  
 す。靴というのは、長時  
 間歩くための人間が開発  
 した道具なんです。  
 道具なので、足をやっぱ  
 りサポートする必要があ  
 がつて、ある部分はしつ  
 かり絞めたり、この部  
 分は歩くための余裕が必  
 要だとかいう微妙な調整



がお客様によって違いが  
 あります。それはお客様  
 ご自身の形であつたり癖  
 であつたりします。その  
 奥にはお客様が辿つて来  
 られた人生ではないかと  
 感じます。出来上がるま  
 でに何度もお話をして私  
 が感じた思いを靴に込め  
 ます。

**小柳**…パンフレットにも  
 ありますが、足は第二の  
 心臓と言われていますね。

**古賀さん**…はい、足の筋肉  
 の収縮により血流が良くな  
 ります。  
 足にフィットして疲れな  
 いっていうのはこういうこ  
 とだと思えます。  
 初回はヒアリングします。  
 顔を決めるといふか、どん  
 な形とか色とかご要望を聞  
 いて次に採寸です。段階を  
 踏んでいくので採寸は三回  
 行います。

**小柳**…もともとは靴の修理  
 屋さんにお勤めだったので  
 すか。

**古賀さん**…はいそうです。  
 リペアとかですね。その後、  
 家に帰ってから独学で靴を  
 作っていました。そして7  
 年前にこの工房をオープン  
 しました。  
 人目につかない場所ですが、  
 お客様も賑やかな所より静  
 かな場所を好まれる傾向が  
 あるようです。

作っている工房を見たいと言われる方もいますし採寸の時には実際こちらに来て頂いています。

**小柳**…作るのは大変ですか。

**古賀さん**…はい毎回大変です。

同じ靴はないので毎回一からのスタートです。僕は外注することなく全てを一人で作るので時間もかかります。

**小柳**…一足作るのにどれくらいの日数がかかるのですか。

**古賀さん**…だいたい一年半ほどです。

**小柳**…やはり結構時間がかかるのですね。

どんな方がオーダーされますか。

**古賀さん**…前々から作ってみたいかったと昔からの夢を叶える人や還暦のお祝いにお父様にプレゼントされる方、息子さんへの成人のお祝いとか



あとは自分へのご褒美とかでしょうか。あ、それと小さすぎて子供用の靴しかない人や逆に大きすぎて履ける靴が少なく困っている方もいらっしゃいます。靴を作るきっかけはいろいろあるのですが、この靴があれば人生を楽しめるんじゃないかとか、この靴でハッピーな人生を送りたい。と思ってくたさる方がいます。



左側：古賀幸仁様 右側：小柳

**小柳**…今後はお客様にどのように貢献していきたいですか。

**古賀さん**…ありきたりの言葉になってしまつて面白くないですが、まさしくその人の人生に合う一足を作る事で、その人が幸せになるお手伝いをしたい。

木型を削つて作りますが、僕も身を削る思いで全身霊をかけて作ります。

お客様のご要望が少ない方もいらつしゃいますが無理難題は僕にとってはご馳走です。

**小柳**…さすが職人さんです。靴を履いてるんだけども素足を感じる感覚といいますか、別世界へ導く案内人としての靴職人さんですね。

将来の展望はありますか。  
**古賀さん**…ここは僕一代で終わるかもしれませんが、その覚悟で僕がいなくなつても修理が出来るような製法で作っています。

靴を作るが修理はしない職人さんもいて修理が出来る人であれば誰でも出来るし、修理して長く使つてほしいです。

一年間で10足しか作れないので、あと何足作れるかと思つています。

もしかしたら息子が後を継いでくれて技術の継承が出来れば嬉しいですが。

**小柳**…私はリペアをよくお願いしていますが、こんな所まで、又よくぞこんな事までしてくれるんだと職人技に感動致しました。他では絶対ここまで細かい仕上げをしてくれるところはないなと本当に思います。本当にすごいとしか言いようがありません。

諦めかけていた靴が甦ります。皆さんも是非試してみたいかがでしょうか。



## NIHIL靴職人の紹介

佐賀県では数少ない靴職人として、20年以上のキャリアを積み重ねてきた「NIHIL」の代表職人であり、デザイナーである彼は、一足一足にかける思いは誰にも負けない自負があります。多くの靴工房が分業や流れ作業で大量に作られ、簡単に消費されていく中で、NIHILでは全ての工程を一人の職人が請け負います。一見非効率に見えるその手間と時間のかかる工法ですが、その工程を経てしか得られない「あなただけの一足」を実現させるために、これからもNIHILはその不器用にも見える製法をこつこつと続けていくのです。

## 古賀 幸仁 Kojin Koga

二十年以上靴と向き合ってきた男



## 【メッセージ】

オーダーメイド靴の魅力とは、まず第一に「既製品では決して味わえないフィット感」です。自分にフィットした靴を使用することで、無駄な動きと力みが抑えられ、長時間歩いたり立ったままでも疲れにくくなります。

逆に、自分に合わない靴を長期間使用すると、身体のバランスが崩れ姿勢が悪くなる原因にもなるのです。靴とは、誰もが日常生活をおくる上では切っても切れない関係であるにも関わらず、その重要性をご存知でない方が多いのが現状です。オーダーメイド靴の魅力をより多くの人に知っていただくために、日々お客様と真摯に向き合い技術を高めることができるよう努めております。



## 【DATA】

## NIHIL bespoke shoe

〒840-0001 佐賀市巨勢町修理田1222

TEL.0952-25-2583 営業時間 / 12:00~19:00 定休日 / 木曜日



編集後記

木型から作るのは本当に時間がかかり、そばで見ると大変そうですが、古賀さんは生き生きと仕事をされています。

古賀さんにどの工程が一番大変ですか？とお尋ねしたら「木型を削る時です。木型を削りながら身を削る思いで集中力が必要なんです！」と和かに語られる笑顔がとても素敵でした。私もオーダーメイドの革靴、憧れます。時代に流されない、ベーシックなデザインと高級革の質感、お客様の足に合わせた最高の履き心地。私も体験したいものです。

古賀さんの作る靴に興味がある方は是非一度見せて貰ってください。

いぢやなぎ

がんにならないための予防法「食事」について

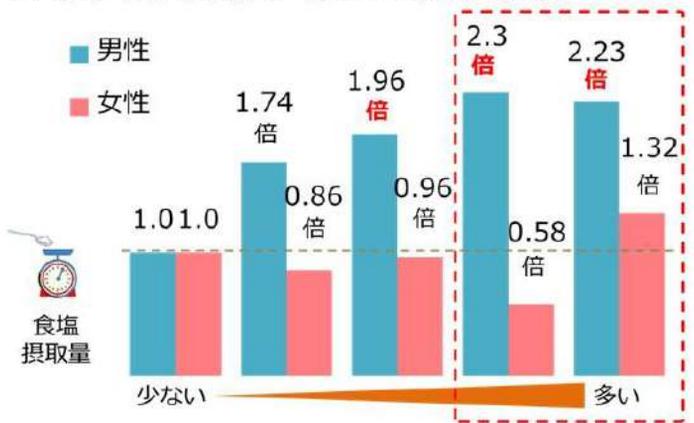


国立がん研究センターが発表している『日本人のためのがん予防法』からがんリスクを高める要因。今回は、「食事」について考えてみましょう。

塩分のとり過ぎは胃がんの発生リスクを上げる

日本人を対象としたコホート研究では、食塩の多い食事は、胃の粘膜が刺激され、特に男性で胃がんの発生リスクを上げる可能性があります。食塩、高塩分食品の摂取量を抑えることが、日本人に多い胃がんの予防に有効だといえるでしょう。

※ (図) 食塩摂取量と胃がんの発生リスク



※ 最も塩分摂取量が少ない人のがんになる確立を1倍とする

※ 40〜59歳の男女についての研究結果

※ 参照：国立がん研究センター 多目的コホート研究『食塩・塩蔵食品摂取と胃がんとの関連について』

[http://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/26\\_0.html](http://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/26_0.html)

■日本人は塩分をとり過ぎている？

公益財団法人がん研究振興財団『がんを防ぐための新12か条』(※1)では、食塩摂取量は1日当たり男性で8.0g未満、女性で7.0g未満をめやすとして推奨しています。一方で、18歳以上の日本人の1日当たり平均食塩摂取量は、男性で10.8g、女性で9.2gです。

(※2) 塩分をとり過ぎているため、胃がんのリスクを抑えるためには塩分を控える必要があることが分かっています。

※1 公益財団法人がん研究振興財団『がんを防ぐための新12か条』  
<https://www.fpcr.or.jp/pamphlet.html>

※2 厚生労働省『平成28年国民健康・栄養調査報告』  
<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/eiyou/h28-houkokoku.html>

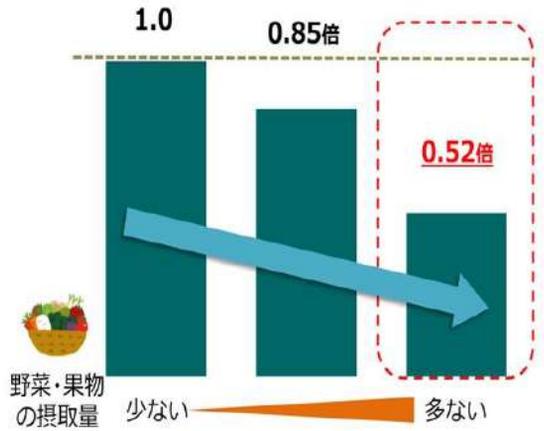
■ どうやって塩分を控えれば良いの？  
 何気なく使っている調味料や料理にも、意外に塩分が含まれており、無意識に塩分をとり過ぎてしまうことも多くあります。  
 ここでは減塩のポイント。  
**調理するとき**  
 ・ だしや香辛料を利用する  
 ・ 汁物は具だくさんにする  
 ・ 調味料はかけずに付ける



野菜・果物の摂取は食道がんの発生リスクを下げる  
 日本人を対象としたコホート研究では、野菜・果物の摂取量が多い人ほど食道がんの発生リスクが下がる可能性があることが示されています。また、がん以外の生活習慣病などの病気のリスクを下げることも明らかになっています。あらゆる病気のリスクを下げるために、野菜・果物を毎日摂ることが勧められます。

### 野菜・果物の摂取は食道がんの発生リスクを下げる

**外食や惣菜を利用するとき**  
 ・ 汁物・スープはできるだけ残す  
 ・ 塩分量の表示をチェックする  
 ・ 漬け物など高塩分食品は控える  
 ※ 参考…調味料大さじ1杯分の塩分量  
 しょうゆ 2.4g  
 だし入りみそ 2.1g  
 ウスターソース 1.3g



※ 参照…国立がん研究センター 多目的コホート研究 『野菜・果物摂取と扁平上皮細胞由来食道がんとの関連について』  
<http://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/327.html>  
 ■ 日本人は野菜が不足している？  
 「国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基本的な方針」 『第三次国民健康づくり対策として、



2000年から厚生省(当時)が行った一連の施策』では、1日あたりの野菜摂取量のめやすを350gと設定しています。(※3)  
 一方で、平成28年の国民栄養調査によると、成人1人当たりの1日の野菜摂取量は平均265.9g(※4)です。摂取量が不足しているため、積極的に野菜・果物をとる必要があるといえます。

## その他に食事でがん予防効果があることは？

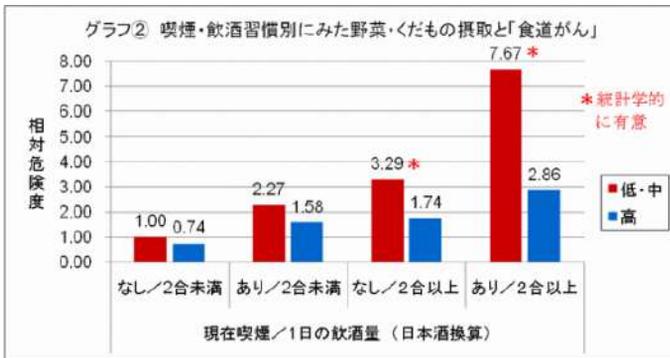
その他、熱い飲食物や加工肉・赤肉ががんの発症リスクを高める可能性があるとすることも明らかになりました。

今後、新たながん発生リスクに関する研究結果についても注目していきたいですね。

食事で確実にがん予防できるといふ食品や栄養素はありません。また、とり過ぎるとがんリスクを上げる可能性のある成分もあります。そのため、食事は偏り無くバランスの良いものとするのが大切です。



野菜・果物の摂取量が増加すると食道がんのリスクが低下する予防的な関連が見られました。この関連は喫煙・飲酒者でも見られました。しかし、野菜・果物摂取による予防的効果に及びません。食道がんの予防には、まず禁煙・禁酒、次に野菜・果物摂取が大切であると言えます。年齢・飲酒・喫煙など食道がんのリスク要因と野菜・果物摂取との関連が結果に影響しないよう配慮して解析しました。食道がんによって食事内容が変わってしまったことによる結果への影響



(因果の逆転)の可能性を避けるために、調査後1年以内の食道がんを除いた解析も結果は同様でした。野菜・果物摂取により食道がんの予防が可能であると結論付けるためには、今後さらに多くの研究で一致した結果が得られる必要があります。

## 『激動の時代だからこ

そ！』私は今までの豊富な人生経験から、お金と家族の力の

大事さを実感しました。ご家族の皆様の夢・希望を実現する為に寄り添い、弁護士・会計士、他の士業等と連携し難題も解決することが出来ます。

『幸せは、未来を見通すことから。現在と未来。自分と家族。夢と現実！。見えない不安が、

確かな安心に変わります』をモットーにFPとして社会貢献致しております。

「ご家族のパワーを最大化」「ご家族の力を結束して、今こそ！最倅の時間を作りませんか？」

私は資産形成も含め、ご家族の夢の実現とお金に関する不安や問題解決を3世代にわたって伴せになるプランを創る事を得意としております。ご希望の方はご連絡をお待ちしております。

こやなぎ



皆様、第2号のご感想はいかがでしたでしょうか？  
皆様のご意見も是非お聞かせください。また、この機会に「無料相談チケット」をご活用の方へ、ご紹介いただ方にささやかながらプレゼントを進呈させていただきます。



ファイナンシャルプランナー  
無料相談チケット(2時間)



トラストHP

ほけんのトラスト 佐賀支社

〒840-0033 佐賀県佐賀市光2丁目1-1  
TEL (0952) 26-2292